

# 「プロに学ぶ イチゴ栽培」博物館

イチゴの栽培 ～収穫したイチゴで Xmas ケーキをつくろう～

所属名 : 静岡県 静岡市立清水庵原中学校

実践学年組: 1年 1・2組

氏名: 山本 貴史

## 実践記録の概要 (単元略案)

全 15 時間

時数	学習活動	先生の指導・支援 および評価	コラボノートの 活用
1	<b>生物育成とはどんなものだろう</b> ・技術に込められた問題解決の工夫について考える中で、生物育成の「技術の見方・考え方」に気付く。	「社会からの要求」、「安全性」、「環境への負荷」や「経済性」などに着目して、生物育成の技術が最適化されてきたことに気付く。	
2	<b>イチゴを栽培しよう</b> ・イチゴの栽培について、定植から収穫までの流れを学習し、栽培計画を立てる。	基本的なイチゴの管理方法についての知識を身に付けている。	
3	<b>ペットボトル再利用鉢をつくろう</b> ・ペットボトルを加工して、毎日水やりしなくてもよいような鉢を製作する。	ペットボトルを再利用して、教室内でのイチゴ栽培に適した鉢を製作することができる。	コラボノートの使い方を学習する。
4	<b>イチゴの苗を定植しよう</b> ・植える向き等に気をつけ、1人2鉢定植する。	用具や資材を適切に使用し、観察しやすい向きにイチゴ苗を定植することができる。	写真と文章で栽培記録を作成。
5	・定植後、写真撮影をし、コラボノートで栽培記録を入力する。	スレートPCを用いて、コラボノートに写真と文章で栽培記録を入力することができる。	
6	<b>甘いイチゴに育てるためには?</b> ・有機肥料、化学肥料それぞれの長所・短所を調べて、イチゴの追肥にはどちらが良いのか考える。	有機肥料と化学肥料の長所・短所を理解し、「安全性」、「環境への負荷」、「品質・収量等の効率」、「経済性」を考え、イチゴの育成に最適な追肥の仕方を理解している。	写真と文章で栽培記録を作成。

7	<p><b>イチゴの観察をしよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい葉芽が出てくる中で、元気がない古い葉をどうしたらよいのか考える。</li> </ul>	<p>観察を通して、捉えた生長の変化への対応を工夫し、イチゴの摘葉を行うことができる。</p>	<p>写真と文章で栽培記録を作成。 質問コーナーへの入力</p>
8 9	<p><b>どんなイチゴにしたい?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分のケーキに使うイチゴを「大きくする」、「形を良くする」、「数を多くする」、「色を赤くする」ためにはどうすればよいのか考える。</li> </ul>	<p>先哲の考え方を参考にしながら自分が求めるケーキに適したイチゴを育てるために、管理作業及び栽培方法について、自分なりの最適解を出すため、仮説及び実験方法を考え、対照実験を開始することができる。</p>	<p>写真と文章で栽培記録を作成。 仮説と実験方法を考え、質問コーナーへ入力→専門家よりアドバイス→修正を行い、対象実験開始</p>
10 11	<p><b>害虫の駆除について考えよう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家のアドバイスをもとに、何を第一優先に考えて、どのように害虫の駆除を行うのか考える。</li> </ul>	<p>先哲の考え方を手掛かりに、それぞれ生徒同士で互いに考え方を交流することを通して、害虫の駆除について、技術の見方・考え方の7つ視点について考え、自分なりの最適解を出すことができる。</p>	<p>写真と文章で栽培記録を作成。 害虫発見→質問コーナー入力→専門家よりアドバイス→様々な意見から最適化</p>
12 13	<p><b>イチゴの管理作業を行おう</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの対照実験に沿って、温度管理、摘花、摘果、人工受粉、収穫等を行う。</li> </ul>	<p>それぞれの対照実験に沿って、自分が立てた育成計画に基づいた管理作業ができる。</p>	<p>写真と文章で栽培記録を作成。 質問コーナーへの入力</p>
14 15	<p><b>今後の生物育成の技術は?</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の栽培技術と従来の農業を比べ、それぞれの技術に込められた価値を理解し、評価・活用する。</li> <li>・イチゴ栽培をふり返り、栽培計画を見直し、加筆修正する。</li> </ul>	<p>生物育成の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。</p>	<p>写真と文章で栽培記録を作成。 質問コーナーへの入力</p>